

平成 24 年度当初予算案概要

財 政 局

復旧・復興業務が本格化し震災関連の予算とマンパワーの確保が一層重要に
 多様な財源活用により復興計画事業に最重点配分し震災復興を加速的に推進
 一般財源とマンパワーの捻出の観点から既存事業を厳選・重点化

全体予算規模

一般会計が 31.2%増で 5,787 億円など過去最大となる 1 兆 1 千億円を超える予算規模

	平成 23 年度	平成 24 年度	増減額	増減率
一般会計	4,412 億円	5,787 億円	+ 1,375 億円	131.2%
特別会計	2,735 億円	2,897 億円	+ 162 億円	105.9%
企業会計	2,402 億円	2,379 億円	23 億円	99.1%
合 計	9,549 億円	1 兆 1,063 億円	+ 1,514 億円	115.9%

新年度予算のポイント（企業会計含む）

震災復興計画の加速的な推進 - 1 5 4 4 億円を最重点配分 -

百万人の復興プロジェクト 824 億円、公共施設等復旧 466 億円 など

< 主な重点政策 >**被災された方々の生活再建に向けた「新たなふるさとづくり」**

被災宅地復旧 288 億円、防災集団移転促進 286 億円、本市独自支援（東部津波被災地域・宅地被害地域）61 億円、復興公営住宅建設 75 億円、生活復興プロジェクト 24 億円など

震災の経験を踏まえた「未来へつなぐ安全なまちづくり」

津波減災・避難施設確保 37 億円、防災・仙台モデル構築プロジェクト 10 億円、災害に強い都市づくり 91 億円（民間建築物耐震化等促進・緊急輸送道路防災対策・下水道地震対策・水道施設災害対策・都市ガス防災対策強化・下水道浸水対策）など

経済の活性化により東北の復興をめざす「東北の元気づくり」

仙台経済ステップアッププラン推進 102 億円＜東北復興交流パーク 2 億円、地域企業ビジネスマッチングセンター 1 億円、商店街にぎわい創出 5 億円、ミュージアム観光魅力創出 17 億円、企業・農業再生 28 億円、雇用拡大・ミスマッチ解消 28 億円など＞

復興の先を見据えた「仙台の新たな魅力づくり」

地下鉄東西線建設 366 億円、東西線関連道路整備・沿線まちづくり 33 億円、仙台駅周辺整備 4 億円（仙台駅西口広場再整備・青葉通再整備・名掛丁エスカレーター整備・仙台駅東西自由通路架替）、子育て・就労支援プロジェクト推進 65 億円 など

予算編成の状況

1 予算編成方針の骨子

平成 24 年度予算編成に当たっては、震災復興を最優先と位置づけ、復興計画事業への重点配分、事業の厳選化・健全化を重視した取り組みを徹底。

2 予算見積・調整の状況

例年どおりの予算見積（10～11月）

予算査定（11～12月）

予算内示（12月）

復活要求や以下の要素による追加・修正の要求（1月）

- ・ 仙台市震災復興計画の議決や実施計画の策定調整を踏まえた予算見積の追加・修正
- ・ 復興交付金事業計画の策定調整を踏まえた予算見積の追加・修正や年次調整
- ・ 国の第3次補正予算・平成24年度予算を踏まえた予算見積の追加・修正や年次調整
平成23年度補正予算編成と合わせた最終調整

一般会計予算における予算見積・最終調整の状況

	歳入	歳出	差引（収支差）
予算見積集計	4,973 億円	5,330 億円	357 億円
追加・修正後の予算見積集計	5,472 億円	6,070 億円	598 億円
予算編成過程における精査・調整等	+ 74 億円	293 億円	改善 367 億円
最終調整後(財源対策前)	5,546 億円	5,777 億円	231 億円

- ・ 財源の精査及び基金等の活用による歳入の確保
- ・ 平成23年度予算への前倒し計上、一般経費の精査、事業の年次調整等による歳出の調整

3 財源対策の状況 一般会計における最終調整後の収支差 231 億円への対応状況

	歳入	歳出	収支差対応
財政調整基金繰入 （株式売却収入 10 億円を含む）	+ 139 億円		+ 139 億円
市債管理基金繰入	+ 13 億円		+ 13 億円
退職手当債・行政改革推進債	+ 39 億円		+ 39 億円
特定目的基金充当範囲拡大	+ 40 億円		+ 40 億円
保有株式売却収入	+ 10 億円	+ 10 億円	
	+ 241 億円	+ 10 億円	+ 231 億円

- ・ 保有株式売却は、売却収入として歳入に計上し、運用収入として財政調整基金に積み立てることから歳入・歳出に計上。

4 一般会計当初予算額

	歳入	歳出	
調整の状況 + 財源対策の状況	5,787 億円	5,787 億円	